



ハイブリッド工法のご提案

少ない費用で大きな安心





ハイブリッド工法 (金物編) hybrid:混成

少ない費用で大きな安心

ハイブリッド工法とは、木造軸組の通柱仕口部分をテックワン金物に置き換えて固定する金物工法です。



柱・梁の
断面欠損が少ない

金物による
接合部強度が高い

高耐食の防錆仕上で
高耐久住宅に対応



通柱と胴差加工 通柱と金具取付用ボルト穴
(米松集成材 120×120)

断面を見れば
一目瞭然です。



テックワン金物の梁・柱・金物の納まり



ハイブリッド工法現場施工状況



ハイブリッド工法 (集成材編)

性能規定時代の構造用部材として

性能

曲げ強度・ヤング係数など
強度性能が表示されています。



強度

大節・割れ等の欠点を除いた
良質の部分を使用する為
天然木に対し1.5以上の
強度性能がある。



精度

含水率15%以下に乾燥した
木材を使用するため、
狂い・収縮が少ない。



品質

品質管理され、強度測定した
ラミナを選別して
厳しい製造管理による
工場生産をしています。



自信を持って
お届けします。



構造用集成・テックワンを使用することにより・・・

断面欠損が少なく接合強度が計算された**金物ジョイント工法 (テックワン)**と、狂いが少なく強度を数値表示された**構造用集成材**は、木造軸組工法をより進化させることができます。将来における構造計算・パネル工法・瑕疵保障など、新しく求められる要求に必ず役立つと私共は考えています。